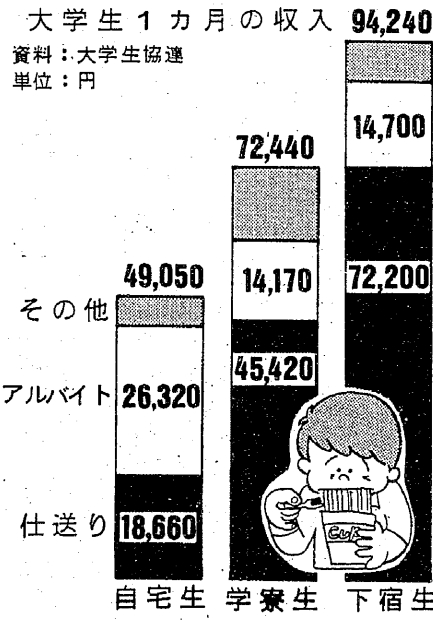


くらしと統計

大学生活も苦しく

大学受験期です。これを乗り越えれば晴れて新入生ですが、このあとの生活もなかなか大変。グラフは、大学生協連がまとめた昨年一カ月の大学生収入の内訳。悩みの原因とか。



しかも毎年増加してきたアルバイト収入にも鈍化のきざしが見えてきました。アルバイト賃金が上がっていないことなどが理由のようです。

一方、収入が増えないかわりに、支出が増えている。書籍代、勉強費、食費など。とくに勉強費は前年比で四・六％、書籍代は一・七％のマイナスとなっており、おもに学業関係費に影響がでています。

仕送りを増やしてあげたいのが親心。でも、春から出費は増えても、賃金は思うようには上がらないのが現状。まだしばらくは親子そろって「おしん」の生活が続くそうです。

【連合】

時のことば

防衛費

一パーセント枠

一九七六年十一月、当時の三木内閣が防衛力の目標「防衛計画の大綱」を定めるにあたり、各年度の防衛費総額を国民総生産（GNP）の百分の一以内を目途にする、と閣議決定した。八四年度防衛費は〇・九一％。公務員ペーパーが三％以上ならば、今秋にも「一％」の目標を達成する。

肥田舜太郎の

ことわざ養生訓

⑧

よく丸めて

万金丹

薬は、それほど効くものではない。とあって、この痛烈な皮肉。まさか、丸めては、丸まらないが、今、売られている何千、何万種類の薬がどれくらい効くのか、保証の限りではない。

子は三界の首かき

かつて有名な内科の教授が「信頼できる薬はアスピリン（解熱、鎮痛剤）とジキタリス（強心剤）」といくつかの抗生物質だけ。あと、はあってもなくても同じ」といって、それが極言としても「当たり前」といって、あつてまた苦しむ。人間のいのちは身体をこわして、悪いくるをなすのは病人の身体自身であつて、薬はそれを有る。

3月の「よみ」

〇〇（弥生）（やよい）。陽気な日と寒い日が交互にやってくる。月で、三日はひな祭り、耳の日。五日は啓蒙、冬ごもりした虫が地上にはい出てくる。日と伝言されます。七日が消防記念日、八日国際婦人デー。十二日、奈良東大寺二月堂のお水取りがすむと関西では春。十七日に彼岸入りし、二十日が春分の日で休日。

冬の買いもの

〇〇三月下旬から太平洋側、日本海側とも大雪の恐れ。シベリア寒気団が日本に吹き出しやすい気圧配置が続き、三月後半には北日本を中心に寒の戻りが厳しい見込みです。太平洋側でも一時雪という長期予報です。

二十年のたたかい

三池からの報告 第六集

CO 闘争の発展と裁判闘争の勝利のために

- ▼体裁 B5版 写真多数 四十二ページ
- ▼価額 五五〇円（送料百七十円）
- ▼まともなたたかきと送料は不要です。
- ▼振込みの場合は、労働金庫大田支店 二八三三〇三〇三を、利用下さい。

有明鉦大災害

緊急パンフレット発行

悲しみを

怒りにかえて

またも三井の大量殺人

三池からの報告

目次
有明（三池労組）
有明・惨（詩）
追及される保安の手抜き
有明（炭坑）
災害現場の略図
有明鉦の歴史
息子二人は殺された（レポート）
また仲間の命が奪われた
「命と生活を守る」労働運動を高らかに
いまなお「命の危機」
「最新鋭優良鉱」の保安不良
資料：災害経過と団体交渉
犠牲者のお名前
炭坑災害・他
災害箇所図面
新聞写真